

まもなく二月、冷たい空気の中にもわずかな春の気配が感じられるようになりました。暦ではまもなく立春を迎えます。日本では、立春・立夏・立秋・立冬という四つの節目を大切にしてきました。その前日に行われる節分は、一年の区切りとして古くから続く行事です。

豆まきには、「季節の変わり目には邪気が入りやすい」という考えがあり、炒った豆をまいて邪気を祓い、家族や地域の人々の無病息災を願う意味が込められています。子どもたちにとっては楽しい行事ですが、その背景を知ること、伝統行事のもつ深い思いに触れ、日本の文化への理解を深める機会となります。

本校でも、節分をはじめとする季節の行事を大切に、子どもたちが自然の変化や文化の豊かさに気付くよう努めています。学年のまとめに向かうこの時期、季節の節目を意識することは、自らの成長を振り返り、次の学年への準備を整えるよいきっかけになります。立春を迎える季節、子どもたちが健やかに春へ向かって歩み出せるよう、学校全体で温かく支えてまいります。

地域の方とふれあう会 1/23

「地域の方とふれあう会」を行い、地域の皆様にご参加いただきました。生活科の学習として、けん玉やお手玉、あやとりなどの昔遊びを教えていただきました。初めて挑戦する遊びも多く、思うようにできず悔しそうにする場面もありましたが、地域の皆様がそばで優しく声をかけていただき、子どもたちは笑顔で何度も挑戦していました。

また、1・2年生が今月の歌「ふるさと」を心を込めて歌いました。少し緊張しながらも、一生懸命に歌う子どもたちの姿にやさしく澄んだ歌声が響き渡りました。歌い終わると地域の皆様から温かい拍手と笑顔が送られ、子どもたちはうれしそうな表情を見せていました。

最後は地域の皆様と一緒に給食を食べ、会話を楽しみながら和やかな時間を過ごしました。昔の遊びや学校の話聞く中で、世代を超えた温かな交流の輪が広がりました。



七宝焼き制作 1/20・21

6年生が卒業を前に、恒例となっている七宝焼の制作を行いました。一枚の大きな下絵を20のパーツに分け、思いを込めて釉薬をのせていく共同制作です。6年間の学校生活を振り返りながら、色づかいや表現方法に工夫を凝らす姿が見られました。

七宝焼には3年生の頃から触れてきており、その経験が今回の制作にも生かされました。手直しや色調整を重ねながら、6年生らしい落ち着いた仕上げとなりました。

完成した作品は、七宝焼アートヴィレッジで10日ほど展示され卒業式の会場でも披露される予定です。子どもたちの思いが詰まった力作をぜひご覧ください。



2月の行事予定

- 2日(月) 朝会 集金日
- 3日(火) なわとび大会
- 4日(水) 読み聞かせ
- 10日(火) 授業参観 学級懇談会
- 11日(水) 建国記念の日
- 13日(金) なかよしタイム
- 18日(水) 6年薬物乱用防止教室
- 20日(金) 学校運営協議会
- 23日(月) 天皇誕生日
- 25日(水) 宝っ子タイム
- 27日(金) 6年生を送る会